

## 眠れる宝の山

昭和40年代から、日本の山林は、木材価格の低迷や伐採、加工技術の遅れなどにより眠ったままの状態が続いています。森林面積が3割以上を占める福岡市においても、同様です。この森林資源を有効利用しようと、各地で事業化が進みつつありますが、その先進地である宮崎県日向市と熊本県球磨郡の木材加工工場を視察し、それに基づいて議会質問を行いました。

### 質問

日本の林業は、外国産木材に圧されて低迷が続いていましたが、アジアの経済成長に伴い、特に中国や韓国等東アジア向けの引き合いがあり、新たな輸出品として脚光を浴びつつあるようです。視察した工場では原木から乾燥材や集成材、さらにプレカット加工を施すなど付加価値を付けた輸出製品として開発が進められていました。

さらに加工工程での残材をバイオマス発電に利用して工場内の電力のほか、余った電気を売却して事業化し100%利用し尽くすまで進んでいます。(バイオマス=木くずなどの植物資源)

福岡市、特に早良区南部の背振山系の森林資源は涵養機能や災害防止等多面的機能を維持しつつ、木材だけでなくバイオマス発電など新たな資源として有効利用を進めるべきではないでしょうか？

### 市長答弁

木質バイオマス活用についてアンケートや導入シミュレーションを行った結果、安定供給や採算性など課題が多いことが分かった。市民生活を支える森林の多面的機能を維持するためにも森林資源を循環させ有効利用しながら供給可能な木質バイオマスの利活用についても検討していく。



広大な敷地に機械化が進む木材加工工場



視察中の大原議員 右より3人目

## 「子ども観光大使」が福岡の良さを発信 現役の先生が社会貢献活動 — TOSS福岡教育研究会 —

現役の先生たちが社会貢献活動の一環として多くの団体と連携し、より良い社会をめざし指導に取り組んでいます。その準備のためのセミナーがあるというので参加しました。

2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京でオリンピックが開催されます。子どもたちから観光に対する興味や理解を深め、地域の魅力を発信する担い手を育てたい。その取り組みの一つに、福岡での「子ども観光大使教室」が開催されています。

「日本の伝統文化を知らない」と外国の方と十分なコミュニケーションが取れない」とのこと。まずは、福岡市に住んでいる子どもたちに福岡のよさを知ってもらい福岡のよさを発信できる子を育てたい、というわけです。

昨年度は黒田官兵衛にまつわる陶芸体験やウォークラリーなど全7回が実施され大好評で終了、80名の「子ども観光大使」が誕生しました。今年度も「高取焼体験」や「めんたいこ」作りなどを実施、今後「大関ヶ原展(博物館で開催)」や「相撲部屋訪問」などが計画進行中です。福岡の文化や歴史を知り、福岡のよさを発信する「子ども観光大使」に期待が高まっています。

平成24年6月の議会質問において「公務員や先生方は地域活動に積極参加を」と要望しましたが今回のセミナーに出席し、先生方の熱い思いに感動しました。これからの活動を期待しながら見守っていききたいと思います。



高取焼体験



めんたいこ作り

### TOSSとは

TOSS=Teacher's Organization Skill Sharing の略。授業・教育に役立つ教育技術・指導法を開発し、集め、授業の技術を高めようと努める全国で最も大きな教師の研究団体。教室から飛びだし社会貢献活動に取り組む教師のなかには今までと違う教師人生に輝く人も多い。

## 大原やすおの 議会報告



平成27年度は下記委員会に所属します

### 常任委員会

●第3委員会(商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備などについての審査や調査を行います。)

●農業委員会

### 特別委員会

●少子・高齢化対策特別委員会(委員長を務めます。)

●九大移転跡地対策委員会

大原議員は平成27年度6月議会において25日、一般質問を行いました。内容は次の4点について。

### ●福岡市立学校における敷地内全面禁煙について

### ●地域交流センターの整備を契機とした、早良区住宅地南部エリアへのアクセス充実について(1面参照)

### ●有害鳥獣対策について

### ●森林(木材バイオマス)の活用について

## 学校敷地内全面禁煙！先生方はどこでタバコを吸うのかな？

「福岡市立学校敷地内全面禁煙」が実施されて10年が経過しましたが、先生方はやむを得ず校門前の歩道などで喫煙しています。これに対し地域の方から、「みっともないし喫煙マナーに反していて、教育上も好ましくない」との声がまだ止みません。子どもたちや先生のためにも全面禁煙にこだわらず、広い敷地の目立たず迷惑にならない場所に喫煙コーナーを設けられないのですか？

### 教育委員会答弁

受動喫煙から子どもたちを守ることと、将来タバコを吸わない環境づくりのため今後共、全面禁煙を推進していきたい。

…との答弁でしたが、喫煙マナーを守り先生の威厳を保ってほしいと考える私は「全面禁煙」にこだわり続ける教育委員会の考え方も少々強引すぎるのでは、と思うのですが…。みなさんのお声をお聞かせください。

### 学校敷地内禁煙



健康増進法第25条および関係条例に基づき、学校敷地内での喫煙を禁止します

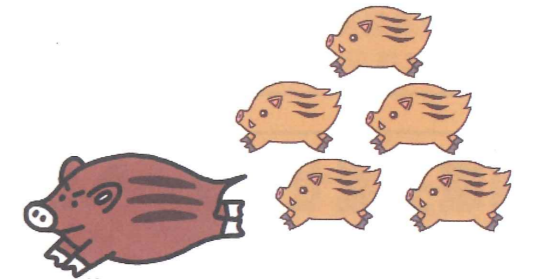


## 市街地に野生動物出没！？

最近、サルが市街地に出没したりイノシシが海を泳いで島に向かっていることが話題となりました。これは人間が里山から野生動物を締め出したから…と、野生動物に同情的な声を聞きますが、果たしてそうでしょうか？近年まで背振山系にイノシシは生息していなかったが、旺盛な繁殖力と生息環境が良くなったことで他の地域から移り住み急増したと考えています。

### その主な原因は、

- ・林業が衰退したために人が山に入ることが少なくなった。
- ・棚田等に耕作放棄地が増えて生息環境が良くなった。
- ・旺盛な繁殖力(出産年齢は2歳から、1度に5頭出産、年2回)
- ・狩猟員の高齢化と減少



このまま増え続けると里山などの農作物の被害だけでなく人への危害も心配されます。電気柵やワイヤーメッシュ柵での防御だけでは根本的な農作物の被害防止策にはなりません。有害野生動物の個体数をいかに減らしていくかが大きな課題です。

そのために有害鳥獣の捕獲の強化と、捕獲助成金及び狩猟員の捕獲意欲を高めるために猟友会等に対する経費支援の充実を要望しました。

イノシシの子ども(ウリボウ)など映像や写真では「かわいい」ですが、被害は農家にとって死活問題。もちろん消費者にも影響します。個体数が増えれば生息地が街へと広がり人への危害も心配です。自然と共存していくことはどういうことなのか考えさせられる問題でもあります。